

令和6年度
親子ふれあいデー活動
(まとめ報告書)



熊本県PTA連合会

令和6年度親子ふれあいデー活動

目次

☆委嘱校

☆活動報告




1. 玉名市立高道小学校PTA	・・・1
2. 山鹿市立八幡小学校PTA	・・・2
3. 菊池市立泗水西小学校PTA	・・・3～4
4. 菊池市立菊池北中学校PTA	・・・5～6
5. 合志市立西合志第一小学校PTA	・・・7～8
6. 合志市立合志南小学校PTA	・・・9
7. 大津町立大津東小学校PTA	・・・10
8. 菊陽町立武蔵ヶ丘北小学校PTA	・・・11～12
9. 御船町立七滝中央小学校PTA	・・・13
10. 嘉島町立嘉島西小学校PTA	・・・14
11. 嘉島町立嘉島中学校PTA	・・・15
12. 宇土市立走瀉小学校PTA	・・・16～17
13. 宇土市立鶴城中学校PTA	・・・18
14. 美里町立砥用小学校PTA	・・・19
15. 上天草市立上小学PTA	・・・20
16. 上天草市立姫戸小学校PTA	・・・21
17. 天草市立佐伊津小学校PTA	・・・22
18. 天草市立倉岳小学校PTA	・・・23
19. 天草市立楠浦小学校PTA	・・・24
20. 氷川町及び八代市中学校組合立 氷川中学校PTA	・・・25～26
21. 芦北町立湯浦小学校PTA	・・・27～28
22. 人吉市立東間小学校PTA	・・・29
23. 人吉市立第一中学校PTA	・・・30
24. あさぎり町立岡原小学校PT	・・・31
25. 水上村立水上学園PTA	・・・32
26. 相良村立相良北小学校PTA	・・・33

令和6年度親子ふれあいデー活動委嘱校

	ブロック	エリア	単位PTA名
1	県北	玉名市	玉名市立高道小学校PTA
2		山鹿市	山鹿市立八幡小学校PTA
3		菊池市	菊池市立泗水西小学校PTA
4		菊池市	菊池市立菊池北中学校PTA
5		合志市	合志市立西合志第一小学校PTA
6		合志市	合志市立合志南小学校PTA
7		菊池郡	大津町立大津東小学校PTA
8		菊池郡	菊陽町立武蔵ヶ丘北小学校PTA
9		上益城郡	御船町立七滝中央小学校PTA
10		上益城郡	嘉島町立嘉島西小学校PTA
11		上益城郡	嘉島町立嘉島中学校PTA
12	県南	宇土市	宇土市立走瀉小学校PTA
13		宇土市	宇土市立鶴城中学校PTA
14		宇城市・下益城郡	美里町立砥用小学校PTA
15		上天草市	上天草市立上小学PTA
16		上天草市	上天草市立姫戸小学校PTA
17		天草郡市	天草市立佐伊津小学校PTA
18		天草郡市	天草市立倉岳小学校PTA
19		天草郡市	天草市立楠浦小学校PTA
20		八代郡市	氷川町及び八代市中学校組合立氷川中学校PTA
21		葦北郡	芦北町立湯浦小学校PTA
22		人吉市	人吉市立東間小学校PTA
23		人吉市	人吉市立第一中学校PTA
24		球磨郡	あさぎり町立岡原小学校PTA
25		球磨郡	水上村立水上学園PTA
26		球磨郡	相良村立相良北小学校PTA

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (玉名市立高道小学校PTA)	児童生徒数 (182) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000 円	(支出) 参加費 2,000 円
単P 113 円	衣装/飲食代 20,113 円
市P 2,000 円	
合計 22,113 円	合計 22,113 円
2. 活動内容・成果・反省	
◎ 活動内容	
<p>【目的】 「家庭・学校・地域との交流活動」を通し、家庭での自然と触れ合う時間、また友人や地域の人々との広い人間関係を育む</p> <p>【日時】 令和6年11月23日 (土) 午前8時00分～</p> <p>【場所】 玉名市役所周辺 (レース会場：市民会館線道路)</p> <p>【内容】 第28回玉名大俵まつり「俵ころがしレース」参加 </p> <p>小学生の部 男女を問わず1チーム小学6年生9名、保護者3名の合計12名 今回、2チーム参加 (俵引きできなかった児童は、俵の後ろを一緒に走行)</p> <p>※ 今回、小学生の部で参加しましたが、大俵の部、中学・高校生の部、レディースの部があり、多くの方と交流ができた</p>	
	
レース前	レース中
	
レース後	
【講座】	
大俵まつりについて、出張講座を受けた	
◎ 成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨今、身体を動かすこと、保護者や地域の方と一緒に楽しみながら過ごすことが少なかった中で、児童が楽しんでくれたこと、また、結果が出たことでさらなるやる気向上につながった ・ 親子で活動するイベントに学校職員も関わり、職員と児童、保護者の連携協力をより一層、強めることができた ・ 大俵まつりについて、出張講座を受け、地域の歴史を学んだ上で親子活動をする事ができた 	
◎ 反省	
<ul style="list-style-type: none"> ・ PTA行事に、児童、保護者および地域の方の参加が多くなるように、さらに、良い計画、運営を心がける必要がある ・ 感染防止対策に加え、熱中症対策にも注力し、参加者の安全・安心を確保する取り組みが必要である 	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者の安全・安心を確保しながら、より多くの方が楽しめるように、PTA活動を活発化させる ・ 保護者が、自ら進んで、PTA活動に参加してくれるように、PTA活動の良さをアピールしていく 	
4. 要望・その他	
<p>今後も、色々なイベントを考える上で、ご支援・ご協力をいただけると幸いです 大変、お世話になりました。ありがとうございました</p>	

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (山鹿市立八幡小学校PTA)	児童生徒数 (190) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 単P その他	(支出) 150周年記念式典必要経費 20,000円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
1 学校創立150周年記念式典 昨年度、実行委員会を立ち上げ、記念式典に向けて内容を検討し、協議を重ねてきた。7月5日(金)の授業参観後には、運動場で児童、職員、保護者、地域の方々で人文字撮影を行った。当日は保護者や地域の多くの方々に参加していただいた。 10月26日(土)に、PTA執行部や地域の婦人会、区長会等、多くの方々のご協力を得て記念式典を実施した。式典当日は、山鹿市長様や山鹿市議会議長様、県議会議員様、山鹿市教育委員会教育長様等、多くの来賓の皆様をお迎えし、6年生が総合的な学習でまとめた「山鹿市の歴史」についての発表をしたり、5,6年生児童による「よさこいソーラン節」の披露、全児童による校歌や創立150周年記念ソングの披露をしたりした。また、山鹿中学校太鼓部の演奏、くまモンステージ、バルーンリリース等、盛りだくさんの内容で、多くの来場者に楽しんでいただいた。式典後は、キッチンカーや婦人会の出店、餅投げイベント、PTAによる出店、クイズ大会等、親子で楽しめるイベントを数多く開催した。 記念式典に参加いただいた地域の方々からは「6年生が学校や地域のことをよく調べていて感心した。」「よさこいソーラン節は迫力があって感動した。」「児童の学校や地域を愛する気持ちが伝わってきてうれしかった。」等の声が多く寄せられた。	
2 PTA学年レクリエーション 学年委員を中心としてレクリエーション内容を検討し、各学年の児童と保護者、職員で楽しく活動する機会を設け、親子の触れ合いや親同士の親睦を目的としたレクリエーションを実施した。	
3 読み聞かせ 隔週金曜日の朝活動の時間に、保護者や地域住民による読み聞かせを実施している。児童が本に親しむ貴重な機会となっている。	
◎成果	
<ul style="list-style-type: none"> 本年度学校創立150周年記念式典を実施し、児童や保護者、来賓、卒業生の皆様、地域の方々と共に学校の歴史を学び、学校を愛し、今後も未来へつないでいこうという思いを持つイベントとなった。また、式典に向けて学校職員、実行委員会、保護者、地域の皆様等、多くの方々に関わっていただき何度も検討を重ね、計画を立ててきた。関係者及び地域が一つにまとまり、絆が深まるイベントとなった。 学年レクリエーションでは、学年委員(保護者)が主体的に内容を計画し、親子や親同士のつながりを大切にしたい取組を実施した。学級のまとまりを高めるイベントとなった。 PTA奉仕作業や資源回収リサイクル活動、読み聞かせ等、親子で活動するイベントに学校職員も関わり、職員と児童、職員と保護者の連携、協力体制をより一層強めた。 主なPTA行事の内容を学級だよりや学校だよりで発信し、PTA活動啓発につなげた。 	
◎反省	
<ul style="list-style-type: none"> PTA主催の様々なイベントの終了後に、学校だよりや学級通信等の紙媒体による発信をした。今後は連絡アプリ活用等、デジタル機器を活用した発信方法を検討する必要がある。 	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> 昨年度は体育館建築のためふれあい秋まつりを中止し、スポーツイベントを実施した。今年度は創立150周年記念式典とふれあい秋祭りとの合同開催という形で実施したが、次年度は「ふれあい秋祭り」を復活させるか、スポーツイベントを継続するか協議する必要がある。保護者や地域の方のご意見を大切にしながら、多くの方々が気軽に楽しく参加できるPTA活動にしたい。 	
4. 要望・その他	
要望は特にありません。県PTAからの活動費は、本校において貴重な予算となっており大変感謝しております。ありがとうございました。	

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (菊池市立泗水西小学校PTA)	児童生徒数 (61) 人
--------------------------	----------------

1. 予算執行状況 (収入・支出)

(収入) 県P 20,000円	(支出) 20,000円
単P	
その他	

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

PTA役員が中心となり「島走中実行委員会」を作り、テレビ番組「逃走中」の様なイメージで「島走中」を企画した。

※フジテレビに確認したところ、イベント自体は問題ないが「逃走中」そのままの名前は使わないで欲しいとの事。泗水西小学校は「田島」という地域名なので「田島を走る」をイメージし「島走中」とした。

本家の様にストーリー性を持たせる為に教頭先生をハンターのボス (ボスハンター) として設定し、ボスハンターが校長先生を監禁するので児童がミッションをクリアしながら逃げぬいて校長先生を救出するというストーリーを展開。

ハンター役は先生、保護者、地域の方、卒業生が行った。

11/17(日)に実施。

※地域を巻き込む為に、ポスターを作成しコンビニ、郵便局、保育園、温泉施設など校区内の人が出入りするところにポスターを貼った。



- ・オープニング (ステージの幕の裏にハンターが待機していることを児童は知らない)



- ・ハンターと児童たち



- ・ ミッション攻略中の児童と地域の方の見守り。終了後にハンターと記念撮影



◎成果

- ・ ケガや事故が無く、無事活動が完了した。
(レクリエーション保険に加入していたが使うことはなかった)
- ・ 危険な場所には「立ち入り禁止テープ」を貼り、危ない場所には立ち入らないように事前準備を行ったこともケガや事故防止に役に立ったと思う。
- ・ ハンター役のほとんどの方が黒スーツにサングラスでハンターになりきっており児童に大好評だった。(本家のハンターの様な走り方をすることや疲れた姿は見せない等の演技指導も実施)
- ・ 日曜に実施したが、児童の参加率は約90%で高い参加率となった。また地域の方も多数見学や見守りに来られた。
- ・ 逃走成功者5名には賞状「逃げ切ったで賞」をボスハンター(教頭先生)より授与。
- ・ イベント終了後にアンケートを実施したところ、楽しかったが約95%で大成功だったと思う。アンケートには「次回もやって欲しい」「最後(卒業前)に楽しい思い出ができた」「オープニングが凄かった」なども書いてあった。
- ・ 低学年の児童は校長先生に「助けられて良かったね」と声を掛けておりストーリーも受け入れられていた様子。

◎反省

アンケートに「挟み撃ちはどうかと思う」「大人げない」なども書いてあった。本家と同様に偶然、挟み撃ちになったケースもあると思うが、高学年にもなると足も速く捕まえるのは困難になるので、現場のハンターが取った戦略だとは思う。次回はハンターへ挟み撃ちは減らすよう指導を行う。

3. 今後の取り組みについて

ハンターは走るからキツイというイメージがあるせいか、ハンター役を募集しても当初の想定ほど集まらず(走らない「見守り役」は沢山集まった)、結果として少ないハンターで実施したため、ハンターはほぼ休憩がない状態であった。今後はハンター募集のやり方を考え、地域の方や卒業生(中高生)等も今回以上に勧誘し、「子どもが主役、大人も主役」の気持ちでよりいっそう地域を巻き込んだわくわくする企画にしていきたいと思う。

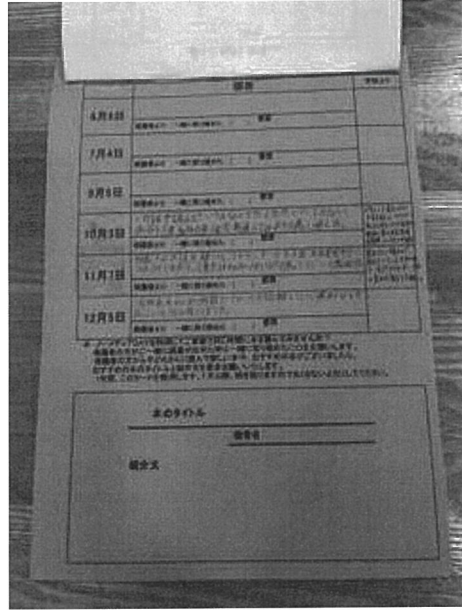
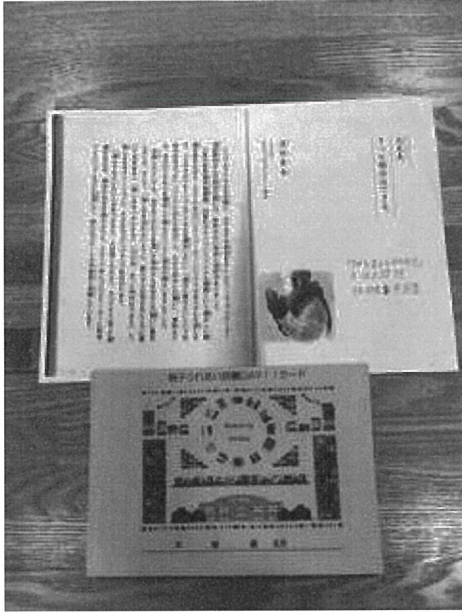
4. 要望・その他

泗水西小学校は今年度をもって市Pを退会することになり、ひいては県Pからも退会することになります。今までお世話になりました。今後は今まで以上に単位PTAに注力し先生方と協力しながら、保護者も地域も子供も大人も一緒に楽しくなるような企画を実施していきたいと思います。

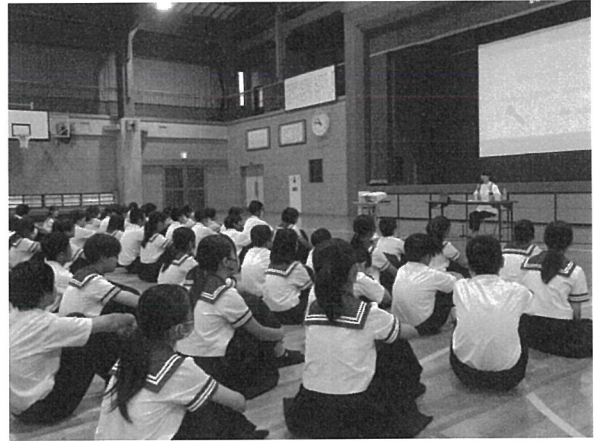
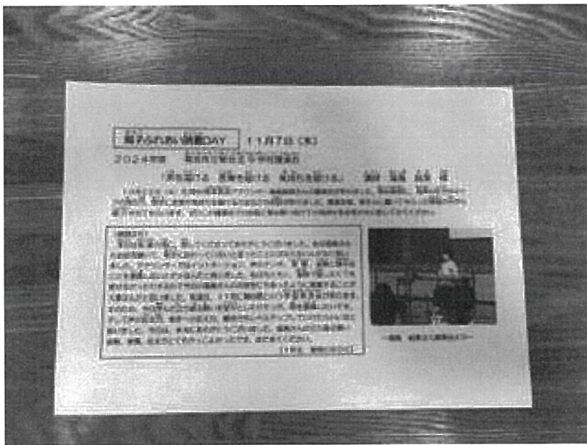
親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (菊池北中学校)	児童生徒数 (108) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000	(支出) 講演会費用 13,000 図書室用書籍 7,000
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
1. 親子ふれあい読書DAY (毎月第一木曜日)	
2. 講演会 (フリーアナウンサー福島絵美さん) 内容を1に活用	
◎成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・中学生になると部活等もあり親子での会話も減ってしまいがちです。しかし今回の取組で会話が増え、お互いの考えを知るきっかけになりました。保護者の感想には「小さい頃を思い出しました。」「徐々に良い時間が持てました。」とのコメントがありました。 ・保護者との時間が取れないときは生徒のコメントのみでも良いとし、生徒が文章に触れる機会を増やしました。自分では選ばないような内容の本に出会うことが出来ました。 ・福島絵美さんの講演会は「声を届ける、言葉を届ける、気持ちを届ける」をテーマにお話ししていただきました。本物に触れることが出来て、普段何気なく発している言葉について改めて考える時間が出来て生徒達はとても良い経験ができました。 ・講演会后、放送に対する意識が変わりました。マイクを持ちアナウンスする言葉がはっきりと聞こえやすくなりました。 	
◎反省	
<ul style="list-style-type: none"> ・共働きの家庭の増加で、一緒に読む時間を確保することが難しいのが現状です。ですが、手書きでコメントを一言必ず返すようにしていたところ親子でコメントを綴ってくれる家庭が増えました。 ・福島絵美さんの講演会は準備等の関係上、生徒のみの参加で行いました。保護者からは後日講演会に参加したかったとのご意見を頂きました。もう少し早めに準備をし保護者の方にも参加していただける体制を取れたらよかったと思いました。 	
3. 今後の取り組みについて	
<p>①「親子ふれあい読書DAY」の取組の様子などをお便りや掲示をし、親子のコミュニケーションや読書の大切さをより浸透させたいと思います。</p> <p>②保護者からのリクエストの本や思い出の一冊などを紹介、購入し保護者にも読書に触れる時間を提案していきたいです。</p>	
4. 要望・その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・講演会で実際に体験することは感性が豊かな、この時期に大きな影響があると思います。初めての体験をインプットし、家庭で伝えることでアウトプットしより鮮明な記憶になったのではないかと思います。 ・親子で何かをすることが減ってきた時期だからこそ意味のある活動だと思いました。このような機会を設けることが出来たことに感謝しております。 	



【親子ふれあいDAY カードと読書のプリント】 【親子ふれあい読書DAY コメント欄】
 【親子ふれあい読書DAY・・・福島絵美さんの講演会について親子で話してもらいました】





【フリーアナウンサー福島絵美さん 講演会の様子】



親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名（ 西合志第一小学校 ） 児童生徒数（89）人	
1. 予算執行状況（収入・支出）	
（収入） 県P : 20,000円 単P : 17,884円 その他	（支出） PTAレクリエーション：23,496円 （参加賞、景品、飲み物代） 愛校作業（燃料代）：14,388円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 1. 親子愛校作業 5月11日、8月24日、11月16日に学校敷地内及び校内の清掃を実施。	
	
	

2. 親子PTAレクリエーション

11月16日に行事活動委員会を中心にPTAレクリエーションとして親子玉入れ大会と抽選会を実施、また11月8日に各学年の教室で親子での給食試食会を実施した。



◎成果

毎日お世話になっている校舎の周りや校庭を親子で一緒になり草取りや清掃を行った。また今年度は学校側よりの提案で校内の高いところや教室内の扇風機など、普段児童だけでは清掃が行えない場所の清掃も行い学びの場を親子できれいにすることができた。

PTAレクリエーションでは、親子の玉入れ大会と抽選会を実施し保護者、児童、教職員で盛り上がる事ができた。給食試食会では自校方式の給食を自分の子供の教室で一緒に食べることができ、普段の給食指導の様子も含めて交流ができた。

◎反省

愛好作業については、校内の清掃を行えたことがよかった。今後も各保護者や先生方からの意見を集め、より児童ためになる活動としていければよいと思う。

レクリエーションについてはコロナ明けの昨年より参加者も増えたのでよかった。来年以降も委員さんを中心に盛り上げていきたいと思う。

3. 今後の取り組みについて

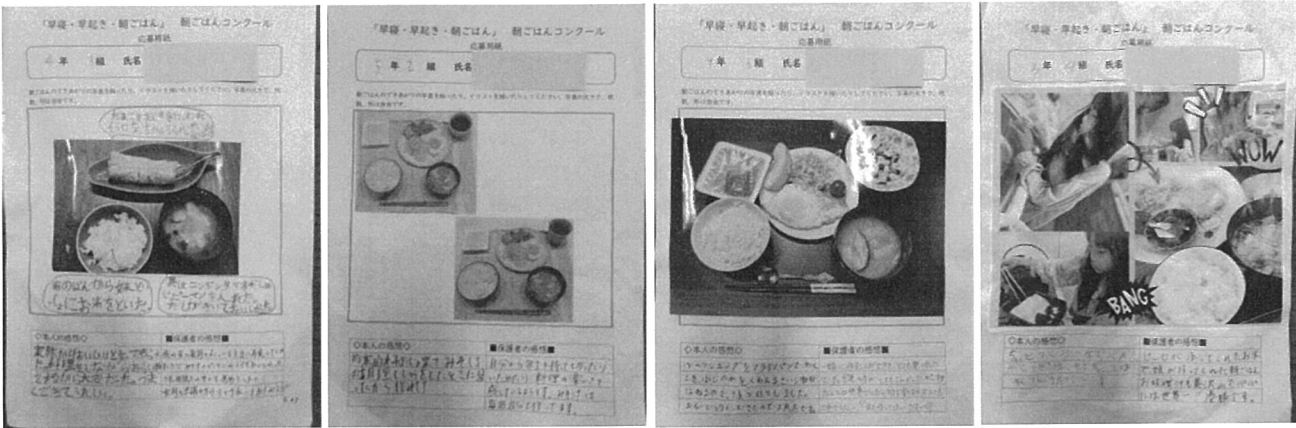
次年度以降も保護者間と子どもたちとのコミュニケーションをとれるようにレクリエーションを継続していきたい。また、現在平日や休日の地域コミュニティ活動に児童が参加していることもあるので、そういった場面に保護者の参加も増えていけるようにPTAとしての声掛けを続けていきたい。

4. 要望・その他

県PTA連合会様の助成をいただくことで、PTA活動も子どもたちにとってより良い教育活動につながっていると感じています。

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名（合志市立合志南小学校PTA）	児童生徒数（718）人
1. 予算執行状況（収入・支出）	
（収入） 20,000円	（支出） 20,000円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○親子で取り組む「朝ごはんコンクール」を行った。親子で協力して朝ごはんを作り、作った朝ごはんを絵や写真で紹介する。親子で感想や工夫したことなどを書き提出する。 ○応募された作品の中から、「PTA会長賞」や「校長賞」などの入賞作品を選考し、賞状及び副賞（図書カード）を授賞する。（以下は令和6年度の上位入賞作品） 	
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○親子のふれあいの機会となった。 ○児童の感想と保護者の感想を両方とったことから、親子でどのように工夫したのかがわかり大変良かった。 ○5・6年生の児童は、家庭科で学習した“栄養バランス”などを考慮し、見た目や色合い等も創意工夫した朝ごはんを作ることができた。 ○各賞を取り入れたことで児童の励みになった。副賞に図書カードを与えることができた。 	
<p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今年度は冬休み前に募集要項を配布したので、休み中に親子で取り組んだ家庭が多かったが、次年度はもう少し早い段階で計画し、夏休み前には募集を開始したい。 	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ○児童や保護者に大変好評であるため、次年度以降も継続して取り組んでいきたい。 ○「朝ごはん」限定で募集しているが、募集部門を工夫して増やす（昼ご飯や晩ご飯、味噌汁部門など）ことで、より多くの児童・保護者の参加を目指したい。 	
4. 要望・その他	
<ul style="list-style-type: none"> ○食を通して親子のふれあいができるよい取組となった。このような機会を与えていただきありがとうございました。継続して取り組んでいきたいと思っております。 	

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (大津町立大津東小学校) 児童生徒数 (37) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P ￥20,000 単P ￥4,113 学校 ￥3,852	(支出) フェスタ ￥3,852 レクリェーション ￥24,113
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 ①『親子ふれあいフェスタ』 ・保護者主体となって、運営・計画をし、子供達が作ったもち米・芋を使用し、餅つきや芋ふかしを縦割り班で行った。	
②『レクリェーション』 ・校区内の企業さんをお願いをして、キットの生地を購入してもらい、その生地を使用し、小物入れの制作をした。	
◎成果 ①親子・教職員で餅つき・餅丸めを経験し、家族や先生方と餅と芋を食べました。普段、接する機会がないご家庭とも会話や交流ができ、にぎやかに過ごせた。つきたてのお餅を食し、経験値を増やす事ができ、大変良かった。	
②親子・教職員で、大人も子供も集まって会話しながら、作り進めていったので、とても楽しそうな声が聞こえていた。作業の中で、大人が関わらなければならない所もあり、しっかり親子で交流しながら制作できた。	
◎反省 ①10ヶで5年程活動がまともに出来なかった為、保護者で以前のようなフェスタを知っている方が少なく、準備や運営・計画を知ってる保護者でしたため、負担が偏ってしまった。今年で、土台はつくられたので、来年からは分担出来そうだ。	
②制作の進行具合がバラバラになってしまい、退屈する子もでてきてしまったので、来年はみんなで差がでないような事を計画したいと思った。	
3. 今後の取り組みについて	
数年ぶりに、まともな活動ができ、保護者も児童も職員も、大変満足した活動になった。小規模校ということもあり、P数が少ないので、保護者に負担があまりかからないような運営や活動をしていきたいと思う。ただ、小規模校だからこそできることもあると思うので、そこを見つけ、本校の強みにし、特認校制度を利用する児童が増えるよう活動していきたい。	
4. 要望・その他	
毎年、委嘱していただき、ありがとうございます。 小規模校ということで、年々PTA会費の収入も減少してきており、県Pより補助していただき、なんとか賅っております。 毎年、子供達がいろんな経験ができるのも、この事業があってと考えております。 今後も、この事業を活かさせていただき、継続したいと思っております。 本当に、ありがとうございます。	

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名（菊陽町立武蔵ヶ丘北小学校PTA）

児童生徒数（474）人

1. 予算執行状況（収入・支出）

<収入>88,604円	
（内訳）県P	20,000円（委嘱金）、単P 68,604円
<支出>88,604円	
（内訳）餅つき	40,962円（もち米、食材、必要消耗品等）領収書No2～19
門松	2,476円（竹・花材、飾り等）領収書No.1
しめ縄	39,330円（しめ縄、花材等）領収書No.22～29
共通経費	5,836円（保険等）領収書No.20,21

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

餅つきと門松としめ縄で「武北っ子フェスタ」

PTA主催。学校運営協議会や民生委員児童委員等地域の皆様（地域サポーター）、学校、保護者、卒業生サポーター、町内PTAや役場等の心強いサポートを受けながら各者と連携して実施。寒い中だったが子供達も笑顔で参加、2日間延べ約200名が参加する大盛況のイベントとなった。



① 餅つき

- ・日時・場所：令和6年12月14日（土）10時-13時 小学校藤棚周辺
- ・参加数：118名
- ・内容：

地域サポーターのご指導のもと、参加者は杵と石うすを使った餅つきやお餅を丸める体験を行った。初体験の子供も多く、お餅がお米（餅米）からできていることを学びながら、自分達でついたお餅を丸めて口にすることに喜ぶ姿が多くみられた。大人も子供と一緒に杵を持ち、ふらつきながらも一生懸命杵を持つ姿を見て笑みがこぼれていた。お餅を丸める作業では子供達が今まで経験した土団子作りの経験がなかなか活かせず四苦八苦しながらも、サポーターの方々の指導を受け一生懸命形を整えていく姿が見られた。また、時折風が吹いて餅とり粉が舞い、粉まみれになりながらも、大人も子供も笑顔でハプニングを楽しんでいた。子供達は、自分たちがついたお餅をあんこやきなこ、しょうゆ、海苔など様々なトッピングでおいしそうに食べていた。



② 正門門松・ミニしめ縄づくり

- ・日時・場所：令和6年12月15日（日）9時-12時 小学校正門・体育館
- ・参加数：75名（延べ）
- ・内容：

武北小正門の門松は、毎年恒例、子供達も地域の方も楽しみにされている武北小の冬の風物詩。今年も地域・PTAサポーターのご協力のもと、正門に設置する門松づくりを実施した。

前日にPTA役員・サポーターが毎年ご指導をいただく地域の「匠」宅を訪問し、町内のPTA・おやじ委員会、役場等と連携して竹取りを行うなどの準備を実施。そして当日、学校運営協議会や経験者ご指導のもと、昨年の記憶を思い起こしながら参加者が協力して製作を実施した。

武北の門松は子供達が竹をピカピカに磨く「心のこもった門松づくり」が伝統で、今年も子供達が紙やすりを使って丁寧に竹の切り口を磨いてくれた。

また、今年はPTA役員保護者が講師となり、ミニしめ縄づくりを初めて実施。子供達はそれぞれ思い思いの飾りを選び、個性豊かなしめ縄が続々と完成。学校用、門松用のしめ縄も完成した。完成したしめ縄は、日頃から子供達がお世話になっている地域の皆様、武北っ子フェスタ地域サポーターの皆様へ、感謝のお手紙を添えてお届けした。



◎成果

- ・餅つきを加えた開催形態は今回が2回目であったが、2日間通じて延べ200名近くの子供達・地域・学校・保護者・役場等が参加。子供達を真ん中に、子供達の笑顔あふれるイベントとなった。
- ・参加者からは「地域になくはならない大事なイベント」「イベントに参加してみたかった。今年やっと参加できて嬉しい」「PTAや地域サポーターの皆さんの子供達への愛を感じた」「来年も楽しみにしている」などの声をいただくことができた。
- ・保護者サポーターからは「地域や周りの皆様から我が子を育てていただいていることを実感できた」「この日だけは仕事を調整してスケジュールを空けている」「他のサポーターの皆さんと同じ時間を共有できたことが貴重な思い出になった」などの声をいただいた。
- ・学校からは「子供達の笑顔がたくさん見られてよかった。参加者が皆さん喜んでおられた。PTAの皆様ののおかげだと感謝している」との声をいただいた。
- ・地域サポーターからは「昨年より今年、どんどん良くなっている。進化している！」「今年も一緒にできて楽しかった。来年も声をかけてほしい」「門松合格！武北らしい、心がこもった素晴らしい出来栄え」「子供の教育に一番大切なのは家族の信頼関係。家族の協力も素晴らしい。親が子供に関わろうとしている。皆さんのご家庭には不安がない。今後が楽しみ」「ぜひ続けてほしい」などの声をいただいた。
- ・こうした声から、「武北っ子フェスタ」が、家庭学校・地域の三者が子どもの教育について緊密に連携し進めるPTCA活動の展開に貢献するイベントとして関係者に受け入れられ、家庭学校・地域の交流の場として定着した。そして、三者ともが継続を望む、子供達を育む上で欠かせない「約束のイベント」となったことが大きな成果であると感じている。



◎反省

- ・餅つきについては事前申込制としていたが、あまり申込数がのびなかったこともあり、当日飛び入り参加を可としたところ、予想を上回る参加があった。また、当日寒波襲来が予想されたため、急遽ぜんざいの振る舞いを行ったところ希望が多く、結果お餅が足りなくなりました。
- ・門松については、ある程度マニュアルはあるものの、1年前の記憶を頼りながら行ったことで製作時間が予定よりオーバーしてしまいました。記憶が新鮮なうちにマニュアルのアップデートを行う必要がある。また、前日の竹取り、当日の竹切りなど、経験のある保護者サポーター（お父さん方）の存在が重要であり、継続して関わっていただくことが課題である。
- ・しめ縄については、事前の部材づくりを保護者サポーターが協力して行う流れができたので、来年も継続すると良いと感じた。
- ・いずれも、計画することは難しいが、今年度の振り返りをしっかり行い、来年度に繋げたい。

3. 今後の取り組みについて

当校約束のイベントとなった「武北っ子フェスタ」は、子供達と家庭学校・地域がふれあえる、「地域になくはならない大事なイベント」であり「学校・地域・家庭連携のシンボル」として今後も続けていかななくてはならないと感じているが、これもPTA執行部のやる気と、PTAと地域の方々との交流なくしては実現できないことを実感した。

今後もPTAが学校と地域との交流の懸け橋となっていくことが重要と考える。そのためにまずはこの「ご縁」を絶やさずに、子供達を見守ってくださっている皆様に、保護者でありPTAである私たちがまずもって感謝の気持ちを伝え続けることが大事だと考える。また、その姿勢を子供達にも見せていくことも大事である。「来年できたらいいな」と口だけにならないよう行動力、計画、やる気をもって今後も続けていきたい。





4. 要望・その他

今回初めての申請でしたが、親子ふれあいデー活動の助成をいただいたお陰で、子供達と家庭学校・地域がふれあえる約束のイベントを続ける道筋が立ちました。また、案内チラシに「熊本県PTA連合会の助成金を活用」と記載していましたが、「こんな御支援を県PTAはしてくださるのか」と当校関係者、地域からも感謝の声があがっていました。この度は、貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。今後ともこのような御支援をいただければ幸いです。

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (御船町立七滝中央小学校)		児童生徒数 (68) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 20,000円 単P 0円	(支出)	①「田んぼ借地」費用 5,000円 ②教育講演会 3,000円 ③④太鼓技術指導講師代 10,000円 ⑤「玉ねぎ植え」交通費 2,000円
	合 計 20,000円		合 計 20,000円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
①「田植え」(5年児童)～「稲刈り」(5年児童)～「餅つき会」)5・6年生			
<ul style="list-style-type: none"> ・6/21(金)地域の方からお借りした田んぼで、地域の方のご指導のもと「田植え」を行った。 ・10/25(金)地域の方々のご指導・ご協力のもと「稲刈り」を行った。 ・1/20(月)保護者や青少年健全育成会議の協力も得ながら5・6年生が収穫したもち米で「餅つき」を行った。 			
			
②教育講演会			
<ul style="list-style-type: none"> ・熊本市立出水南中学校の田中慎一郎校長先生お迎えして「スマホの向こう側～自分も友達も幸せになるインターネットの社会の創り方～」という演題で講演をしていただいた。 ・親子でともに考える講演と保護者だけを対象にした講演の2部構成で行った。 			
③「能寛太鼓」(5年児童)			
<ul style="list-style-type: none"> ・9/8(日)「田代東部地区のふれあい祭」に参加して太鼓をたたいた。 ・11/24(日)「七滝元気まつり」に出演し太鼓をたたいた。 			
			
④「新風太鼓『響』」(6年児童)			
<ul style="list-style-type: none"> ・5/12(日)地域の祭「七滝祭り」に出演予定だったが、雨天のため中止になった。 ・11/17(日)地域の祭「上野地区マルシェ」に出演して太鼓をたたいた。 			
⑤「寅舞」(獅子舞)の踊り			
<ul style="list-style-type: none"> ・9/25(水)に地域の祭りで4年生が「寅舞」を披露した。 			
⑥「玉ねぎ植え」(1・2年児童)～「玉ねぎ掘り」(翌年度2・3年児童)			
<ul style="list-style-type: none"> ・12/2(月)地域の方からお借りした畑で、地域の方々のご指導のもと「玉ねぎ植え」を行った。 ・来年度の5月に「玉ねぎ掘り」を行う予定。 			
◎成果			
①⑤・・・地域の方々「田植え」「稲刈り」「玉ねぎ植え」の体験活動をする事で、食と農の大切さや苦勞・工夫を学ぶことができた。			
地域の方々と一緒に活動し、交流を深めることができた。			
②・・・子供たちは、親の思いを知ることができた。保護者は、子供との関わり方を再確認できた講演会となった。			
③④⑤・・・地域の祭で披露することで、日頃お世話になっている地域の方々に喜んでいただいた。また、児童にとっても、練習の成果を発表する場となり、達成感を味わえる機会となった。			
◎反省			
①田植えと稲刈りの間に、稲の観察や草取り等を行い、途中の育成過程や作業を学ぶ機会を入れてもよい。			
3. 今後の取り組みについて			
今後も、できるだけ「ふれあい活動」を実施していきたい。			
4. 要望・その他			
児童にとって「自然体験活動」や「地域(家族)とのふれあい活動」等は大変価値のあるものだと考えます。今年度も2万円を助成していただき、心より感謝申し上げます。			

親子ふれあいデー活動報告書

R6年度

単位PTA名 (嘉島町立嘉島西小学校)	児童生徒数 (498) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 単P その他	(支出) 20,000円
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <p>各学年による学年レクリエーション</p> <p>1年生 クリスマスリース作り</p> <p>2年生 ドッジボール大会</p> <p>3年生 ドッジボール大会</p> <p>4年生 風鈴工作</p> <p>5年生 スノードーム作り</p> <p>6年生 卒業式コサージュ作成</p> <p>門松・ミニ門松作り</p> <p>76家族137人が参加。今年で4年目の開催となりました。</p> <p>地域の方々との味噌づくり</p> <p>地域ボランティアの方々との味噌づくりを実施。</p>	
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年レクリエーションでは、学年委員が主体的にイベントを計画し、親子のふれ合いや先生親同士のつながりを大切にした取組となっていて、学級のまとまりにもつながっている。 ・門松作りも今年で4年目となり、年々参加人数も増えている。伝統行事への関心を高める機会となり、子供だけでなく親子で参加し協力しながら楽しめる年末のPTA行事として定着しつつある。 	
<p>◎反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの方が参加しやすく、充実した活動になるような内容を今後も検討していく。 ・地域の方々を巻き込んだ活動を企画・実施していく。 	
3. 今後の取り組みについて	
<p>今後も、子供たちの健全育成の為に、学校・家庭・地域が一体となり、お互いの信頼関係のもとで教育活動を推進していく取り組みをPTAが主体となり考えていきたい。</p>	
4. 要望・その他	
<p>本年度も、親子ふれあいデー活動の助成を受けることができ、大変感謝しております。おかげで有意義な活動を行うことができました。今後も活動をさらに充実させていきたいと思っております。</p>	

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (嘉島町立嘉島中学校 PTA)		児童生徒数 (336) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入) 県P 20,000円 単P 0 その他 0		(支出) 20,000円 花苗・刈払機用混合油	
2. 活動内容・成果・反省			
<p>◎活動内容 [除草作業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月は、6時半、8月は6時に保護者と先生で正門周辺やグラウンド内の草を手作業で抜いていき、トラック周辺は刈払機を使用し除草作業を行った。 ・10月は、6時半より1年生と保護者・先生方でグラウンドグラウンドトラック内外を手作業・刈払機で除草作業を行った。また、玄関横の花壇の草を抜き、生徒と保護者で花の苗植えを行った。 			
<p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手作業での除草は大変だったが、たくさんの方々のおかげでグラウンドも花壇もとても綺麗になった。 ・先生や保護者間の交流、そして親子が和気あいあいと活動し、親睦を深める良い機会となった。 			
<p>◎反省</p> <p>コロナ禍が明け今年度は保護者と子供達の交流を増やそうと、親子ふれあい除草作業を(8月と10月)2回行う旨、4月役員会で計画した。しかし、8月は厳しい暑さで熱中症の心配と草が多すぎて刈払機を使用した場合の子供の安全を考え、昨年度と同じ(10月のみ親子ふれあい除草作業)活動とした。綿密な計画を立てた上で、実行に移せるようにこの反省を活かしていきたい。</p>			
3. 今後の取り組みについて			
卒業式に向けて花壇のお世話を生徒会長と共に各委員会の子供たちをお願いしたい。次年度も引き続き除草作業を行っていきたいと考える。			
4. 要望・その他			
特になし			

親子ふれあいデー活動報告書

2024 年度

単位 P T A 名 (走瀧小学校 P T A)		児童生徒数 (92) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県 P 50,000円 単 P 2,490円 その他 ----- 合計 52,490円	(支出)	フラバール活動費 参加賞・備品 18,960円 コサージュ作り活動費 備品等 3,530円 講師謝金 30,000円 ----- 合計 52,490円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
<p>① 学年対抗フラバール大会 (2024/06/28実施)</p> <p>全学年の保護者、さらには先生を対象に、「学年対抗フラバール大会」を実施しました。安全面を考慮し、子どもたちは応援という立場でしたが、子どもたちの応援を背に、保護者の一生懸命にするプレーを子どもたちに見せることができました。チームには各学年の先生も入ることで、先生と保護者との距離も近づくよいきっかけとなりました。</p>			
<p>② 卒業生・新入生へのコサージュ作り</p> <p>地域の方のご協力 (コサージュ作りのアドバイス、生徒サポート) を得て、PTA役員と5年生生徒全員で、今年度卒業生向けと、来年度の新入生向けのコサージュ作りを一緒に行いました。制作を一緒に行うことで、生徒・地域・学校・保護者でのよいコミュニケーションの場ともなりました。</p>			
◎成果			
<p>学年フラバール大会では、子どもたち・保護者、そして学校の先生方とのスポーツを通してのよいコミュニケーションの場となりました。特に、保護者にとっては、自分の子だけではなく学校の子どもたちみんなと、そして先生たちと触れ合う良い機会となりました。</p> <p>コサージュ作りも同様に、子どもたちと保護者と先生、さらには地域の皆様とのよいコミュニケーションの場となりました。なにより、在校生からの卒業生、新入生に向けた思い出に残るよいプレゼントとなることもよかったですと思います。</p>			
◎反省			
<p>双方の活動とも、事故もなく楽しい時間となりました。反省点をあえて上げるとすれば、学年対抗フラバール大会では欠席の保護者もいらっしやっただので、なるべく全保護者にも参加してもらえるような事前の周知を数度行うようにすれば参加率がさらに上がったと思います。</p>			
3. 今後の取り組みについて			
<p>今回の活動は、参加した皆様にとっても好評であったため、来年度以降も同様の活動を継続させていきたいと思っています。ただ、保護者にとっては、いろいろな意見をお持ちの方もいらっしやることもあるかと思うので、新年度の活動開始時に、保護者からの意見を聞き、必要な修正は行っていきたいと思っています。</p>			

4. 要望・その他

このような活動に補助して頂き大変助かります。お陰様でよい交流の時間をつくることができました。ありがとうございます。

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (宇土市立鶴城中学校)		児童生徒数 (837) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 20000円 単P その他	(支出)	門松竹代 10000円 門松飾り代 10000円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
<ul style="list-style-type: none"> ● 日時: 12月14日土曜日 ● 場所: 鶴城中学校ピロティ ● 参加者: 生徒、保護者、教員、民生委員、ボランティア団体、計150名 ● 主なプログラム: <ul style="list-style-type: none"> ○ 門松作り ○ 災害食作り (市の支援、ボランティア団体による講義付き) 			
◎成果			
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域との連携: 民生委員の方々を招き、学校と保護者だけでなく地域全体で一丸となってイベントを実施しました。地域住民との交流を深め、学校と地域との連携を強化する良い機会となりました。 ● 門松作り: 地域の方々のご協力のもと、生徒と保護者、教員と一緒に門松作りを行いました。伝統的な日本の文化に触れる機会となり、親子間のコミュニケーションが深まりました。 ● 災害食作り: 市の支援とボランティア団体の協力により、災害時の食料確保の重要性について学び、実際に災害食を調理しました。生徒たちは、非常食の保存方法や調理方法について理解を深め、防災意識を高めることができました。 			
◎反省			
<ul style="list-style-type: none"> ● 道具の不足: 今回参加者数に対し道具の不足が目立ち、体験時間が少なくなる場面があった。今後は参加者と道具の数を予め確認する必要がある。 ● 活動がスムーズに回らなかった: 参加者が多かったため、活動の動線確保や当日の流れ等、もっと事前に内容の確認調整が必要だった。 ● 多様なプログラム: 今後のイベントでは、より幅広い年齢層が楽しめるようなプログラムを企画し、参加者の満足度向上を目指します。 			
3. 今後の取り組みについて			
<p>今回の親子ふれあいデー活動は、生徒、保護者、教員、地域住民が一体となり、成功のうちに幕を閉じることができました。今後も、このようなイベントを通して、学校と地域との連携をさらに深めていきたいと考えております。</p>			
4. 要望・その他			
<p>今年度の親子ふれあいデー委嘱校に採択いただき誠にありがとうございます。本委嘱事業を今後も続けていただけたら幸いです。</p>			

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名(美里町立砥用小学校PTA)

児童生徒数(102)人

1. 予算執行状況(収入・支出)

(収入)	県P	20,000円	(支出)	花苗代	40,800円
	単P	28,800円		土、肥料代	8,000円
	計	48,800円		計	48,800円

2. 活動内容・成果・反省

【活動内容】

本校PTAでは、生活委員会が主となり、12月1日(日)親子ふれあいファミリープランターを実施した。ファミリープランターとは、親子で協力して花の苗をプランターに植え、家庭で花を育てながら交流し、玄関や庭にプランター等を置き地域の環境美化等の一助になるようにと、継続して取り組んでいる活動である。



また、この活動と同時に、保護者と教師が混合でチームを作り、子どもたちが応援する(参加もする)PTAのモルック大会を実施した。グラウンドには多くの親子の姿があり、温かい時間をもつことができた。

【成果】

日曜の午前中の実施に合わせ、PTA会員の多くが参加し、児童も多数来校した。今年はモルック大会と並行して実施したこともあり、歓声や笑い声が終始絶えなかった。最後には全員で記念写真を撮り、和やかな中で活動を終わることができた。当日、予定が入っていて、参加できない家庭は、12月5日の持久走大会兼授業参観の際に活動を実施し、ほとんどの家庭がこの活動に参加することができた。



モルック大会では、子どもが競技の手伝いや応援をする姿が見られ、親子のきずなが深まる様子が見られた。企画した生活委員と保体委員からは、次年度も二つの活動を合わせて実施することを要望する声が聞かれた。

【反省】

ファミリープランターの活動が、準備された苗を親子で植える作業だけではもったいないと思われる。苗の選択及び購入について調査をしたり、植えた後どうするかの計画を立てたり、親子で主体的にこの活動に向き合う仕掛けが必要である。

また、地域の声を拾い上げてこの活動とつなげていくことも今後検討の余地がある。

3. 今後の取り組みについて

学級懇談や学級だより等で、状況を聞いたり、状況について親子の話題にしたりするような働きかけを行っていく。モルック大会については、ルールを浸透させ、もっとたくさんの家庭が参加できるように呼び掛けていく。

活動時期や周知方法等を検討し、親子の触れ合いが作れる時間を確保していく。

4. 要望・その他

学校と家庭が協力して、時間を割いて活動していくことが困難な風潮がある。特に休日は子どもにとってはクラブ活動や稽古事、保護者にとっては家庭の事情や休日出勤等があり日程の調整が難しい実態がある。また、物価の高騰により、苗を3種類そろえることは次年度難しいと予想している。



親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名（上天草市立上小学校PTA）	児童生徒数（173）人	
1. 予算執行状況（収入・支出）		
（収入） 県P ￥20,000 単P その他	（支出） ￥20,000	
2. 活動内容・成果・反省		
◎活動内容 令和6年11月2日（土）に「創立150周年記念式典」を開催した。		
◎成果 多くのご来賓の方々、保護者の方々に参加いただき、式典は盛大に行われた。		
		
【実行委員長式辞】	【児童代表150周年宣言】	【記念品贈呈】
		
【1, 2年生発表】	【3, 4年生発表】	【5, 6年生発表】
<p>式を終えて、6年生が書いた次の作文が熊日の「若者コーナー」に掲載された。 「・・・6年間いつもお世話になっているから、少しでもお礼ができたらいいなという気持ちで全力でがんばりました。・・・地域のみなさんのおかげで150周年をむかえ、すばらしい式典となりました。下級生にこの伝統を引きついでいてもらいたいと思いました。」</p>		
◎反省 実行委員会の方々に大変お世話になった。課題等はないが、様々な活動を教育課程に組み込みながら進めるのが多少難しかった。		
3. 今後の取り組みについて 次年度、令和7年10月26日（日）にタイムカプセルの開封式を行う。		
4. 要望・その他 特に要望はありません。ご協力頂きありがとうございました。		

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (上天草市立姫戸小学校PTA) 児童生徒数 (60) 人

1. 予算執行状況 (収入・支出)

(収入)	県P	20,000円	(支出)	20,000円
	単P	15,000円		15,000円

2. 活動内容・成果・反省

<活動内容>

- (1) 目的 「親子ふれあいデー活動」を通して、児童・保護者・地域の方との交流を深める。
- (2) 日時 令和6年10月5日(土) 9:30~11:30 (120分)
- (3) 場所 姫戸小学校体育館
- (4) 内容 子どもの防災、地域の防災(防災ゲーム クロスロード)
- (5) 講師 くまもとクロスロード研究会 松里 健一さん 他2名



姫戸町の地域住民(自主防災組織)14名と児童・保護者の総勢70名が参加し、グループごとに分かれて、防災に関するゲームを通して、防災について学ぶことができた。

<成果>

- ・本活動の目的である「『親子ふれあいデー活動』を通して、児童・保護者・地域の方との交流を深める」ことができたことが何よりの成果である。
- ・この時期に、講師(くまもとクロスロード研究会)の方を招聘して「防災」について学ぶことができて良かった等の声を聞くことができた。特に、自主防災組織の方々も本校の取組を知る機会となり、喜ばれていた。
- ・自主防災組織の方々にも参加していただき、地域ぐるみで防災について「考える」、そして「備える」ことが重要であることを改めて感じさせられた活動であった。
- ・「みぢかな防災」として、想定される様々な場面での「決断、判断」について楽しく考えるもので「YES」or「NO」どちらも正解で、自分の考えを表明することや、少数意見(他の人と違う視点)を尊重することが大切であるなど、ゲームの中で多くの気づきが見られた。



<反省>

今回の活動では、低学年児童にとっては難しい内容が含まれており、また、活動時間も長めに設定していたため、子どもをはじめとする参加者の実態等を十分に踏まえた上で計画する必要がある。次年度の取組については、全ての参加者に負担なく活動できるように留意したい。

3. 今後の取組について




姫戸小学校では、昭和47年(1972年)7月6日に発生した天草大水害を経験された方の講話を聞き、防災について考える会を毎年開催しているものの、今回のような親子が一緒になって防災について考える機会は、それほど多くはない。そのため、PTAが主催した、このような防災学習を今後、定期的に計画・実施していきたい。また、姫戸町の特色である「地域と学校の連携・協働」を意識し、更に地域の方々との交流の場を大切にしていきたい。

4. 要望・その他

令和6年度「親子ふれあいデー活動」の委嘱を受け、このようなPTA主催のふれあい活動が実施できたことに、感謝の気持ちでいっぱいである。昨年に引き続き、新しい活動を企画して準備することはとても大変ではあるが、活動終了後には、無事にやり終えた安堵感と、楽しそうにふれあう親子の様子が思い出され、嬉しい気持ちになる。今後も是非、今回のような取組を行い、親子のつながりを深めていきたいと思う。

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (天草市立佐伊津小学校) 児童生徒数 (161) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円	(支出) 20,000円 昔遊び道具 昔話図書
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 低学年児童53人が、保護者、地域の老人会、民生委員等と昔遊び体験をとおしてふれ合う活動を実施した。昔遊びは11の種目を実施することができた。	
◎成果 佐伊津町振興会の福祉部会でこれまで地域の活動として実施されてきたものを、学校教育活動の一環として実施することで、これまで課題であった参加児童の少ないことや活動支援者の不足をクリアできた。学校にとっても、地域にとってもウィンウィンの活動となった。今後も佐伊津町振興会の既存の組織を大いに学校教育で活用していきたい。	
◎反省 実施時期が厳寒期であったことで欠席児童や体調不良による不参加の地域の方々がいたことや屋外の活動に制限が生じたということがあった。次年度は実施時期を工夫したい。 佐伊津夜話の昔話のコーナーや地域の方々による昔話の読み聞かせのコーナーも好評だった。	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者と地域一体で今後も地域学校協働活動を推進していく。 ○ 今回多くの方々の協力があった。しかし厳寒期となったところが課題として挙げられたので次年度は開催時期を考慮する。 	
4. 要望・その他	
<ul style="list-style-type: none"> ○ PTAと地域との協働によるイベントとして今後、既存の組織力をいかしてさらによりよい教育活動を掘り起こしていく。 	

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (天草市立倉岳小学校)		児童生徒数 (70) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 20,000円 単P 46,000円 その他	(支出)	66,000円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容 学年ごとに行う親子での体験を通して、子ども・担任・保護者の親睦をはかる 活動内容は、学年委員を中心にそれぞれの学年担任と保護者で決定する 1年生:親子レクリエーション活動 4年生:親子ボウリング大会 2年生:御所浦恐竜の島博物館見学 5年生:御所浦恐竜の島博物館見学 3年生:親子調理 6年生:親子ボウリング大会			
◎成果 親子と担任の先生との交流を目的とした「学年活動」だが、コロナ禍でしばらく休止しており昨年度から少しずつ再開していた。今年度は県PTA連合会からの本助成金を組み込み、一人1000円程度の予算を組み、さらに活発な活動をおこなうことができた。輪投げや玉入れなどのレクリエーション、ボウリング、化石発掘やカレーライスの調理など、学年委員を中心にそれぞれの学年ごとに特色のある活動を通して親睦を深めることができた。			
◎反省 学年間の日程調整や情報共有など、縦の学年同士の連絡・調整をもう少しスムーズにできる余地があるように感じた。今後児童数が減った場合、二学年合同での活動も視野に入れ、仕組みづくりを進めたい。 助成金の申請決定がギリギリになってしまい、年度予算への組み込みができなかった。 以上のような反省点を来年度以降にも引き継ぎ、効果的な「親子ふれあいデー」助成金の活用を促していきたい。			
3. 今後の取り組みについて			
親子と先生が一緒になって体験する貴重な機会を今後とも積極的にサポートしていきたい。PTAの活動について積極的に関わってくださる家庭が多いが、今後もPTAの活動が負担になるのではなく、楽しく参加できる企画や仕組みづくりを進めていきたい。			
4. 要望・その他			
今回「親子ふれあいデー」活動に応募し、委嘱を受けることができたことに感謝いたします。中間報告会などで他校のPTA活動についてのお話を直接聞くことができ、大変勉強になりました。今後も継続して参加することで、PTA活動の良い部分を保護者の皆さんと共有していきたいと思っております。			

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (天草市立楠浦小学校)		児童生徒数 (94) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 20,000円 単P 5,600円 保護者負担金 22,000円 *保護者、児童宿泊費等	(支出)	宿泊費(子) 15,000円 宿泊費(親) 12,000円 食費等 14,296円 エアコン代 6,200円
	合計 47,600円		合計 47,496円
※残金104円は卒業記念品の購入費用として使用			
2. 活動内容・成果・反省			
令和6年7月20日(土) 16:00～令和6年7月21日(日) 8:30			
◎活動内容			
天草市新和町ひだまりの里研修館において、親子ふれあい活動を行った。			
1日目	(1) 開会式 (活動内容説明 施設説明)		16:00
	(2) 夕食づくり (カレーライス作り サラダ作り)		16:30
	(3) 会食 (児童と家族で会食)		17:30
	(4) 親子レクリエーション (ペタンク 長縄 ビンゴ大会 他)		18:30
	(5) 入浴		20:30
	(6) 後片付け		21:30
	(7) 就寝		22:00
2日目	(8) 解散式 感想発表		8:00
◎成果			
親子一緒に楽しく活動し、みんな笑顔いっぱい忘れられない思い出となった。ひだまりの里は運動施設、宿泊施設が整っており、保護者、児童が思う存分充実した活動をすることができた。活動を通して、児童同士や保護者同士、親子のつながりがさらに深まった。けがや病気もなく全員参加できたことがよかった。			
毎年、学校のPTAからも、わずかな助成を行っているが、今年も昨年度から引き続き多くの助成をいただき保護者の負担が減少した。			
◎反省			
宿泊施設の下見や食材等の準備がたいへんだった。全員の予定を合わせ、期日を調整するのが難しかった。中心になって活動を企画運営する保護者の負担が大きいので、当日は役割を分担し、一部の方に負担が偏らないようにしたい。			
3. 今後の取り組みについて			
来年度も親子レクリエーションを計画し、児童と保護者にとって楽しく思い出に残る活動を計画したい。			
4. 要望・その他			
多くの金額の助成をいただき、学年PTAレクリエーションがたいへん充実した活動となりました。ありがとうございました。			



親子ふれあいデー活動報告書



令和6年度

単位PTA名（ 氷川町及び八代市中学校組合立 氷川中学校 ） 児童生徒数（ 119 ）人

1. 予算執行状況（収入・支出）

(収入)	県P	20,000円	(支出)	生徒分補助食品代	14,178円
	単P	無		保護者飲料代	5,822円
	その他				

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

【10月／氷川町 三神宮秋季例祭における地域一体行事】

氷川中学校は毎年、氷川町 宮原地区で年に1度開催される「氷川町 三神宮秋季例祭」に3年生 飾り馬のポニー牽き・2年生 神輿・1年生 小学生神輿サポート、盛り上げ隊生徒総出で早朝から夕方まで参加します。

今年はコロナ明けで通常の祭り体制にもなったため、更に活気溢れるように保護者の支援体制も強化しつつ、更に氷川中学校OB会の「氷川会」の皆様にも全面的なご協力を得て、地域全体で毎年活動します。おかげ様を持って地域・生徒・教職員・保護者・祭り関係者一体となり怪我無く盛り上がりました。

◎成果

地域伝統継承、郷土愛を深める、地域や親子のふれあい、生徒たちの成長を披露する絶好の機会とし、毎年開催されるこのお祭りでは、地域全体の行事でもある故、時間配分も求められたり、地域の方への御挨拶と共に、成長の披露を無事に見せることが出来ました。中学校に戻ってきた最上級の3年生が最後に疲労困憊ながらも飾り馬と共にウィニングランを披露してくれた際に保護者、先生方、関係者の皆さんが喜んでくださいました。

朝の6時より活動が始まり、夕方まで町中を練り歩くため、今回の補助金で補助食品を購入できたことは、この祭りに参加し、成功を遂げた大きな成果と感じています。感謝します。

3. 今後の取り組みについて

氷川中学校では、親子のみならず、今回申請させていただきましたお祭りを参考にさせていただくとおり地域の方との親睦や、協力も多いです。

愛校作業・CS（コミュニティスクール）活動・各学年親睦会（レクリエーション）・門松作り・立志式など、たくさんの「ふれあい」の機会も多いので、ぜひ今後も県PTAのお力添えをいただきながら、生徒たちの笑顔と、充実した行事への積極的参加が可能な保護者、教職員と共に学校行事や伝統を守っていかせたいと存じます。

4. 要望・その他

今回、この事業は学校として初めて知った次第です。

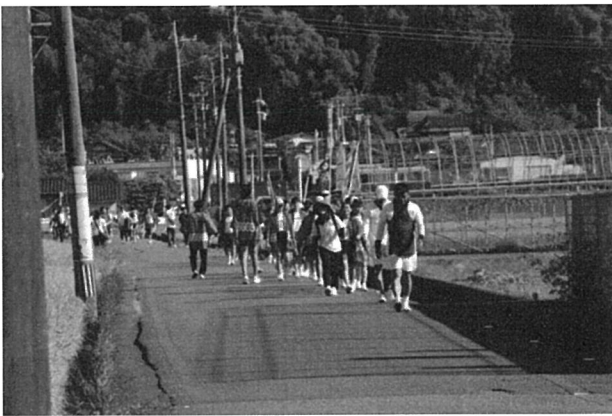
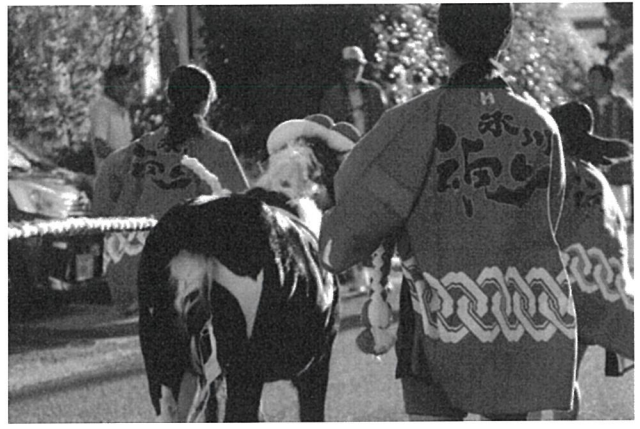
やはり生徒数と共に、保護者の人数も減少傾向にございます。家庭の負担にならず、気持ちよくPTA活動も遂行出来るように、この補助事業は継続していただきたいと感じます。

更に、物価高騰の煽りは否めません。より工夫が必要になってくる時世になったからこそ、この事業支援は嬉しい限りです。

親子ふれあいデーとふれあい読書研究会の補助額にも差額も多い為、分配や補助額をより一層たくさんの学校支援につながるようにご検討いただくのも、今後よりよいPTA活動の方向性になるかと存じます。

継続的なご協力があることを願っております。大変助かりました。感謝申し上げます。

◎活動写真



親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (芦北町立湯浦小学校PTA)	児童生徒数 (139) 人
-------------------------	-----------------

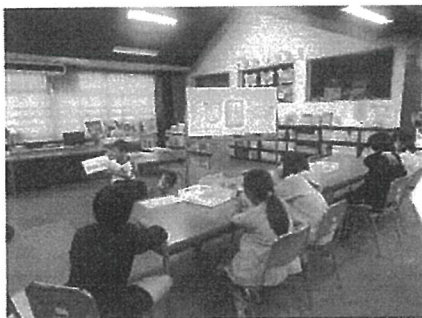
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円	(支出) お茶代 8,215円
単P 9,924円	材料費 19,329円
その他	保険代 2,380円
計 29,924円	計 29,924円

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

「令和6年度湯小っ子フェスティバル (職業体験学習)」

- ・湯浦小学校区の企業や事業所に協力してもらい、学校の教室をブースに見立てて職業体験学習を実施。
- ・1～3年生は決められた職業を体験。(1年生:消防士 2年生:警察官 3年生:自衛官)
- ・4～6年生は、下の職業から2つを選択して体験。
(大工、建設業、畳屋、電気工事、整備士、整体師、保育士、半導体テスト)



◎成果

- ・子ども達は、普段学校では学べない体験を楽しみにしており、体験中も講師の話を中心して聞き、笑顔や驚きの表情を見せながら体験に参加していた。
- ・子ども達から「鉋削りが難しかったけど、簡単そうにできる大工さんがすごい。」「絵本の読み聞かせは難しかった。」「教えてもらったマッサージをお母さんにしてあげたい。」「将来自衛官になりたい。」等の感想があり、働くことの難しさややりがいを感じることができたと思う。
- ・企業や事業所も昨年に続き2回目の開催であったこともあり、スムーズに実施できていた。
- ・運営スタッフに保護者ボランティアを募集したところ18名集まり、「子ども達が一生懸命に取り組む姿を見ることができて良かった。」「来年もあれば参加したい。」等の感想があり、PTA活動に対して関心を持つ保護者が増えたと思う。
- ・昨年度は保護者中心で実施したが、今年度は学校と調整をして先生も運営サポートとして保護者と一緒に参加してもらった。保護者と先生との繋がりをつくるきっかけになったと思う。

◎反省

- ・今回依頼した11企業・事業所のうち3社が協力できず、参加してもらった企業・事業所への参加児童数が予定よりも増えて負担をかけてしまった。調整ができるように早めに企業・事業所に協力依頼をかけるようにしたい。

3. 今後の取り組みについて

- ・PTAC活動の一環として、今後も継続していきたい。
- ・保護者に運営スタッフとして協力してもらったが、他のPTA活動についてもボランティア参加の呼びかけを行い、PTA活動への理解と参加の促進に繋げていきたい。（執行部の負担軽減にもなる。）
- ・湯小っ子フェスティバル（職業体験学習）も含め、PTAC活動を意識して地域を巻き込みながら活動を進めていきたい。（環境美化作業への地域ボランティアの参加など。）

4. 要望・その他

- ・子ども達の健全育成や親の学びとしてもPTAC活動は必要であると思いますが、P数が減少に伴い活動費の確保が課題の1つになっています。親子ふれあいデー活動は例年申請ができるので、とても有難いです。

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (人吉市立東間小学校)	児童生徒数 (301) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 単P 524,813円 その他	(支出) 193,341円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
1. 【あいフェス～藍・愛・逢～2024】開催 →コロナ前まで開催していた【東間まつり】を【あいフェス～藍・愛・逢～】と改め、11/16に児童、保護者に加え地域住民の方を招き、独自通貨『トークン』で回る、キックターゲット、高所作業体験、測量機器体験、自衛隊展示、ブラックシアター、バザー等12もの出店・体験イベントを開催。	
2. 門松づくり →12/14に親子門松づくりを実施。	
	
	
◎成果	
1. 想定より多数のご来校もあり、用意していたイベントの材料、商品等のほとんどが売り切れ、体験イベントも終了時間まで長蛇の列が続き、大盛況のまま終了した。児童・保護者・地域住民からは、「とても楽しかった」との声をたくさんいただいた。	
2. ボランティアさんの指導により、1対の門松づくりを実施。 伝統に触れ、親子のふれあいが図れた。	
◎反省	
1. 想定以上の反響により、『トークン』の緊急増刷、売り切れ・満員の続出。 それに伴い、待ち時間の発生や希望していたイベントができなかったとの声もあった。	
2. 引継ぎ不十分、伝統への認知低下により、手探り状態での実施になってしまった。	
3. 今後の取り組みについて	
1. 来客数、『トークン』使用数を集計し、来年以降の実施イベント数・内容の検討に役立てる。	
2. 引継ぎを容易にするために、門松組み立ての他に事前の竹刈り、他材料（南天、梅、松、熊笹、葉牡丹）の手配、外部委託する作業までまとめた作業手順書の作成をする。 来年以降も活動継続し、伝統行事の認知度アップを図っていきたい。	
4. 要望・その他	
今後も当活動の継続をお願いいたします。	

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (人吉市立第一中学校PTA)		児童生徒数 (376) 人	
1. 予算執行状況			
(収入)	県P 単P	20,000円 37,929円	(支出) 門松材料費 つぼん汁材料費
			47,300円 10,629円
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
<u>あいさつ運動</u>			
・毎月月初めの5日間、中学校の正門前でPTA役員、学年委員及び教職員があいさつ運動を実施し、生徒の登校の様子を見守った。			
<u>門松づくり</u> (実施日 令和6年12月14日(土))			
・学校支援ボランティアの協力を得て、PTA役員、教職員及び生徒会執行部で、中学校の正門前に一對の門松を作成した。			
<u>つぼん汁づくり</u> (実施日 令和6年12月14日(土))			
・門松づくりと同時進行で、家庭教育委員会、教職員及び生徒会執行部で、人吉球磨地方の郷土料理であるつぼん汁を作った。			
◎成果			
・「あいさつ運動」は、今年度からPTA役員に加えて学年委員にも呼びかけを行ったところ、どの学年委員も快く引き受けていただき、生徒だけでなく保護者同士のふれあいの場となった。			
・「門松づくり」や「つぼん汁づくり」を通じて、生徒はもとより保護者も伝統継承の大切さを実感し、生徒、保護者、教職員及び学校支援ボランティア相互の親睦を深めることができた。			
◎反省			
・「門松づくり」、「つぼん汁づくり」はPTA役員及び学年委員に参加を依頼したが、週末ということもあり会員の参加が少なかった。			
3. 今後の取り組みについて			
・「あいさつ運動」、「門松づくり」及び「つぼん汁づくり」は今後も継続して実施し、PTA役員だけでなく、多くの方が参加できるように検討したい。			
4. その他			
・本年度も活動に対して助成していただき大変感謝しております。今後もこの事業を活用させていただきたいと思っております。			

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名 (岡原小学校PTA)	児童生徒数 (109) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円	(支出) ミニコンサート出演者への謝礼 20,000円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
1 創立150周年記念事業の取組 9月29日(日)の創立150周年記念運動会では、記念の年をお祝いする競技を行った。10月10日(木)には、地域有志の方々が田んぼアートを制作され、地域の方々と一緒にドローン撮影を行った。2月16日(日)には、午前中に記念式典を行い、夕方からミニコンサート及び花火の打ち上げが予定されている。ミニコンサート及び花火の打ち上げは、PTA親子行事の一環として児童と保護者が参加する。	
2 「岡原花博」の取組 毎年、道路に面している学校花壇の花の苗植えを、地区の老人会と緑の少年団(4年生)が行っている。「岡原花博」と名付け、1回目を6月18日(火)に行った。この日は、学校フリー参観日でもあり、保護者の方々も活動を参観された。2回目を11月27日(水)に行った。	
3 国際・地域交流の花植え活動の取組 地元企業のベトナム研修生とグランドゴルフチーム及び本校6年生とで、花の苗植え活動に取り組んでいる。第1回目を6月18日(火)、2回目を12月19日(木)に行った。この日は学校フリー参観日だったので保護者も活動を参観された。児童は、挨拶や自己紹介などのベトナム語を事前に練習し、研修生とコミュニケーションをとったり、地域の方に花の植え方を教わったりしながら活動している。児童にとって、ベトナムからの研修生や地域のお年寄りの方と交流できる好機会となっている。	
4 門松づくり 6年生が地域の伝統文化である「門松づくり」とおして、保護者や地域の方と交流を深めた。参加した6年生の児童たちは、保護者や地域の造園業者の補助を受けながら安全に作業し、立派な出来栄の門松を完成することができた。日本の伝統文化を身近に感じながら学校生活を送ることができる環境となっている。	
5 地域の見守り安全活動との交流活動 岡原小校区には、児童の登下校の見守り活動を行っている団体「くろばる会」がある。会員は40名ほどで、保護者に加え区長、老人会長が中心となって活動を行っている。登下校中の横断歩道等に立ち児童に挨拶や声かけをさせていただきながら、児童の安全を見守っていただいている。本年度はさらに、低学年が校外に出て地域学習を行う際に、地域の特色ある建物の紹介及び安全見守りをさせていただいた。	
6 PTA親子美化作業 8月25日(日)にPTA親子美化作業を行った。児童、保護者、職員が運動場の草取りや校庭の草払いを中心とした作業を行った。児童にとって根の張った草の草取りは根気のいる作業であったが、保護者と協力したことで、スムーズに作業することができた。	
◎成果 ○150周年記念事業をとおして、保護者や地域の方々の岡原小への思いを知る良い機会となった。 ○ベトナムからの研修生や地域の方々と協力して植えた花の苗植え活動をとおして、多様な方々と活動することの楽しさもが学べた。また、そのような活動を保護者が参観できる良い機会となった。 ○門松づくりは、PTA役員と6年児童の交流の場となっているとともに、伝統行事への関心を高める機会にもなっている。 ○地域の方や保護者の毎日の安全見守りのおかげで安心して登下校できている。加えて、地域の方や保護者と児童がコミュニケーションを図ることができている。 ○毎日お世話になっている運動場の草取りを親子で協力して行ったことで、コミュニケーションもでき、運動場もきれいになり、学習しやすい環境になった。	
◎反省 ○多くの人に参加しやすく、充実した活動になるような内容を今後も検討していく。	
3. 今後の取り組みについて ○予定していた親子活動及び創立150周年記念事業が実施できた。今年度の反省等を来年度に生かしたい。	
4. 要望・その他 ○親子ふれあいデー活動の助成をいただいたとで、家庭・学校・地域が一体となった活動ができた。今後も、この事業を続けていきたい。	

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度

単位PTA名（ 水上村立水上学園 ）	児童生徒数（ 142 ）人
1. 予算執行状況（収入・支出）	
(収入) 県P 20000円 単P 0円 その他 0円 計 20000円	(支出) 読み聞かせ用図書 20000円 計 20000円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
(1) 保護者や地域の方による読み聞かせ（11月から業間の時間及び諸活動の時間で実施）1年～9年 (2) ファミリー読書旬間（11月に実施）1年～6年	
◎成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者による読み聞かせは、11月から業間（15分）の時間や諸活動（30分）の時間に実施し、児童生徒も楽しみながら話を聞くことができました。保護者や地域の方々に積極的に参加していただいた。 ・ファミリー読書については、親子で取り組んだ本の題名や内容の紹介等をタブレット端末に記入してもらい、全児童分を玄関前に掲示した。取組状況を把握できるとともに、児童生徒同士の交流や読書意欲の向上につなげることができた。また、保護者が授業参観等で掲示内容を目にすることで、家庭での読書活動の動機付けにもつながった。 	
◎反省	
<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせについては、年度途中からの取組となり、年間を通じた実施ができなかった。 今後は、年間を通じた計画的な取組を進めたい。また、読み聞かせをしていただく方の人数確保が難しくなっているので、地域の方々にも積極的に呼びかけを行っていきたい。	
3. 今後の取り組みについて	
(1) 読み聞かせ活動の年間を通じた実施、関係機関と連携した協力者数の確保 (2) ファミリー読書の推進（学校ホームページや学年通信等での発信） (3) 家庭版テーマ読書の実施	
4. 要望・その他	
・年度途中からではあったが、11月から3月まで継続的な「読み聞かせ」の実施ができた。来年度は年間を通じた取組を実施していきたい。また、一人一台のタブレット端末を活用したファミリー読書の取組も実施することができた。今後もタブレット端末を活用した家庭での読書活動をまとめたり、交流したりする取組を探っていきたい。	

親子ふれあいデー活動報告書

令和6年度(2024年度)

単位PTA名 (相良北小学校PTA)	児童生徒数 (5) 人
1. 予算執行状況(収入・支出)	
(収入) 県P 20,000円 単P 3,560円	(支出) 23,560円 内訳 球泉洞入場料・探検コース料 一日保険料、昼食代補助
2. 活動内容・成果・反省	
<p>◎活動内容</p> <p>1 活動名 「親子での令和2年7月豪雨災害被災地見学及び球泉洞体験活動・見学」</p> <p>2 目的 令和2年7月豪雨災害被災地(球磨村)を見学し、災害状況や復興の様子を親子で学ぶとともに、球泉洞の探検コース体験、メガロドン化石の見学などを通して親子のふれあいを図る</p> <p>3 期日 令和6年7月21日(日) 場所 熊本豪雨災害被災地等(球磨村)、球磨川「槍倒の瀬」周辺、球泉洞</p> <p>4 主な日程 (1) 学校出発、(2) 球磨村被災地見学、(3) 球磨川槍倒の瀬メガロドン化石等見学 (4) 昼食、(5) 球泉洞一般コース・探検コース体験、(6) 学校着・解散</p>	
	
被災地見学(肥薩線第2橋りょう)	球磨川槍倒の瀬 石灰岩とメガロドン化石見学
	
球泉洞探検コースの様子	
◎成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年7月豪雨災害被災地(球磨村)を見学し、災害状況や復興の様子を親子で学ぶことができ、改めて災害や防災に対する認識を高めることができた。 ・球磨川槍倒の瀬でメガロドン化石見学や周辺を散策、球泉洞の探検等をとおして、親子で球磨人吉の成り立ちについて学んだり、太古のロマンに触れたりすることができ、親子のふれあいを図ることができた。 ・全家庭(4戸)が参加したことで、保護者間の交流にもなり親睦を深めることができた。 	
◎反省	
<ul style="list-style-type: none"> ・事故や怪我もなく計画的に実施することができた。移動を伴うため、公共の交通機関を検討したが、予算面や肥薩線の未復旧などにより各家庭で自家用車使用とすることとした。鉄道や国道等の災害復旧を切に願っている。 	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ・冬季ふれあい活動についても実施。(R7.2.8「こどもの本の森 熊本」館内見学及び自由読書、「くまもと工芸館」肥後こまづくり体験。※「アクアドームアイススケート体験活動」の予定であったが、アクアドーム工事中のため活動場所を変更。) ・次年度も親子ふれあいデー活動を計画、実施する予定である。 	
4. 要望・その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は、児童数2名、P数2で会費も減となり、予算を伴う活動が制限されると予想される。次年度もこの事業を活用させていただければと願っている。 	

親子ふれあいデー活動

令和7年3月19日発行

熊本県PTA連合会

会	長	山口 法子
家庭教育担当副会長		橋本 昭
家庭教育委員長		池 裕子